

説教題：「御霊の実」

鍵となる聖句：ガラテヤ人への手紙 5:22-25 - 「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、²³ 柔和、自制です。このようなものを禁ずる律法はありません。²⁴ キリスト・イエスにつく者は、自分の肉を、さまざまの情欲や欲望とともに、十字架につけてしまったのです。²⁵ もし私たちが御霊によって生きるのなら、御霊に導かれて、進もうではありませんか。」

皆さん、お早うございます。またお会いできてうれしいです。先月、私は聖霊の教理についてメッセージを二度しました。2週間前に聖霊の力によってクリスチャン生活を送ることについてのメッセージをしました。- 御霊は、私たちに宿っておられますが、クリスチャン生活と奉仕のために私たちに力を与えるために私たちに与えられました。その2回目の説教を行った後、私はクリスチャン生活のこの重要な側面について言いたいことがまだあることに気づきました。

2週間前、私は、私たちクリスチャンが私たちの人生をどのように生きるべきかについてのいくつかの重要な側面をあなた方と分かち合いました。聖霊は各信者に宿り、奉仕のために私たちに力を与え、そして私たちが主イエス・キリストに栄光をお返しする方法で私たちの人生を送ることを可能にします。わたしは使徒パウロの勧めの多くを繰り返し、「肉に従って歩む」のではなく、「御霊に従って歩む」べきだと言いました。「肉 - 私たちがクリスチャンになったときに捨てるべきその古い生き方であり、また、私たちが人生を生きる時に捨てるものです。私たちはまだこれらの体に住んでいて、時には罪と利己主義の古いパターンに陥るので、これを行うのは難しいかもしれません。しかし、私たちは聖霊の助けを借りて、そしてある程度の自己訓練を行使することによって、聖霊によって導かれ、力を与えられた生活を送ることができます。

今日のメッセージでは、2週間前に中断したところから始めます。ガラテヤ人への手紙5章です。ガラテヤの人々は、肉の罪を捨てるための一般的な指導を必要としていただけでなく、ガラテヤの教会の間にもう一つ別の問題がありました。それは、誰かがこれらのクリスチャンの多くに、旧約聖書の律法に従う必要があると説得していたことです。使徒パウロはそれに強く議論しています。彼は、旧約聖書の律法には、神の民に対する神の基準を示すだけでなく、また人間が自分の力でそれらの基準を満たすことができないことを強調しているため、いくらか役に立つと指摘しています。- 私たちは神の方法に従うために私たちの内に神の力が必要です。

ガラテヤ人への手紙の前半で、パウロは旧約聖書の律法に従って生きようとしたクリスチャンを叱責しています。3章では、律法は、義を生み出すのにいかに不十分であることを概説しています。24-25節で、彼はこのように記しています。「こうして、律法は私たちをキリストへ導くための私たちの養育係となりました。²⁵しかし、信仰が現われた以上、私たちはもはや養育係の下にはいません。」

ガラテヤ人への手紙4章で、パウロは律法に従って生きることは奴隷のようであると説明しています。しかし、私たちは今、その奴隷の状態から解放されています。しかし、クリスチャンの自由は、私たちがやりたいことをする自由ではありません。実際、クリスチャンの自由とはこれです。私たちは今、私たちが成り得る全てのことに成り得る自由を得ています。律法の規則ではなく聖霊の力によって生きるための自由です。ガラテヤ人への手紙5:1でパウロは言っています、「キリストは、自由を得させるために、私たちを解放してくださいました。ですから、あなたがたは、しっかり立って、またと奴隷のくびきを負わせられないようにしなさい。」 私たちは古い規則に従う必要はありません。

ガラテヤ人への手紙の前半で、パウロは律法によって生きる人生(これは不十分です)と聖霊の力によって生きる人生を対比させています。残りの2章では、パウロは肉によって生きる人生と聖霊の力によって生きる人生についての議論に移ります。肉対御霊。私は、先ほど、キリスト教の自由とは、やりたいことを何でもする自由ではないと言いました。それは耽溺と罪の、規律のない生活につながる可能性があります。パウロはガラテヤ人への手紙5:13でこれに対して警告しています- 兄弟たち。あなたがたは、自由を与えられるために召されたのです。ただ、その自由を肉の働く機会としないで、愛をもって互いに仕えなさい。

先ほど、キリスト教の自由とは、聖霊の力と導きを受けて、あなたが成り得るすべてになり、潜在能力を最大限に発揮するために自由になることを意味すると言いました。そして、その主要な側面は、ここの13節に見ることができます。自由を肉の働く機会としてしないで、私たちはそれを使ってお互いに仕えるべきです...愛をもって。これが、他者との関係におけるクリスチャン生活の本質です。すなわち、互いに愛し合い、互いに仕え合うことです。

パウロは、14-15節で続けます。 - 律法の全体は、「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。」という一語をもって全うされるのです。¹⁵もし互いにかみ合ったり、食い合ったりしているなら、お互いの間で滅ぼされてしまいます。気をつけなさい。

律法全体は、「あなたは隣人をあなた自身のように愛しなさい」というこの一つの言葉で成就されます。それはレビ記19:18からです。あなたの隣人を愛しなさい。

前に説教で、私はイエスが弟子たちにお与えになった重要な命令を皆さんに引用しました。ヨハネの福音書13:34-35で、イエスは言われました。「あなたがたに新しい戒めを与え

ましょう。あなたがたは互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、そのように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。³⁵ もしあなたがたの互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるのです。」

わたしたちが互いに愛し合うことによって、わたしたちがイエス・キリストの弟子であることを世の人々が知ることができるのです。

ガラテヤ人への手紙 5:14-15 に戻りましょう。パウロは、「隣人をあなた自身のように愛しなさい」という言葉で律法全体が成就したと言った直後に、教会に訓戒を与えます。この訓戒はかなり興味深いと思います。愛が最も重要であると教会に言った直後に、彼は教会に、クリスチャンの兄弟姉妹に些細な事で口論したり、意地悪なことを言ったりしてはならないと言って、教会に忠告します。明らかに、これは教会の問題です。はい、確かにそうです。私は現代の教会でそれを目撃しました、そして私はそれが教会歴史への私の読書で演じられるのを見ました。15 節で、パウロは私たちにこの訓戒を与えます。「もし互いにかみ合ったり、食い合ったりしているなら、お互いの間で滅ぼされてしまいます。気をつけなさい。」些細な事で他の人と喧嘩したり批判したりすることは、他の人からの報復行動につながり、それは私たちのコミュニティにとって本当に自己破壊的なものです。- クリスチャンコミュニティにとって自己破壊的であり、この世に対する私たちのクリスチャンの証しを破壊します。

次に 2 - 3 の聖句を読ませてください。2 週間前の説教と何か似たことを聞くでしょう。ガラテヤ人への手紙 5:16-17 - 私は言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば、決して肉の欲望を満足させるようなことはありません。¹⁷ なぜなら、肉の願うことは御霊に逆らい、御霊は肉に逆らうからです。この二つは互いに対立していて、そのためあなたがたは、自分のしたいと思うことをすることができないのです。

あなたの肉、私の肉はしばしば聖霊に反対しています。私たちの罪深い性質は、聖霊の導きに逆らうために、罪深く利己的な行動に従事するように私たちをしばしば招き続けます。私は、しばしば使徒ヨハネがヨハネの手紙 第一 4:4 で言っていることで自分自身を励まします。- 子どもたちよ。あなたがたは神から出た者です。そして彼らに勝ったのです。あなたがたのうちにおられる方が、この世のうちにいる、あの者よりも力があるからです。」私たちが世俗的な誘惑に打ち勝つことができるのは、神の聖霊が私たちの内に宿っておられ、私たちの内に住んでいる方がサタンや悪霊や私たちを罪に誘惑する誘惑よりも偉大だからです。神ご自身が私たちの内におられ、私たちはどんな誘惑にも打ち勝つことができます。

2 週間前、私はあなたにとって非常に重要な聖句を引用しました。コリント人への手紙第一 10:13 です。神は私たちが誘惑に直面したとき、常に逃げ道を備えてくださいます。その逃避の道を利用し、聖霊の助けを借りて、私たちはあらゆる誘惑に打ち勝ち、それから逃れることができます。

[説教では読みません。コリント人への第一 10:13 – あなたがたのあった試練はみな人の知らないようなものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを耐えることのできないような試練に合わせるようなことはなさいません。むしろ、耐えることのできるように、試練とともに、脱出の道も備えてくださいます。]

ガラテヤ人への手紙 5:16-17に戻りましょう。御霊によって歩む習慣を熱心に実践するなら、肉の誘惑を避けることができます。肉と霊は相反するものであり、17節で、すべきことを行うのが難しいことがよくありますが、規律を保ち、御霊によって歩み続けるなら、霊的な戦いに勝つことができます。

続けます。19-21節は、肉の行いのリストを上げています – 「肉の行ないは明白であって、次のようなものです。不品行、汚れ、好色、²⁰偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、²¹ねたみ、酩酊、遊興、そういった類のものです。前にもあらかじめ言ったように、私は今もあなたがたにあらかじめ言っておきます。こんなことをしている者たちが神の国を相続することはありません。」

この項目を数分間考えてみましょう。ここにリストされている最初の3つの肉の行為は互いに関連しています：不品行、汚れ、好色。これらは、神がセックスを創造した目的以外の性的活動と関係があります。セックスは夫と妻の間で楽しむものです。これらの範囲外の性行為は罪と見なされます。不品行、汚れ、好色は、あなたの体を間違えて使うことを示しています。それは、単に肉体的な事だけではなく、あなたの魂の内に深く影響を与えるからです。性行為が二人の結合であり、感情的および霊的にあなたに深く影響を与えるからです。したがって、これらのリストは、パウロがここで言及している「肉の行い」の項目のトップにあります。

パウロが言及する次の二つのリストは、偶像崇拝と魔術です。これらは、私たちの神への忠誠、神への忠実さに関係しています。偶像崇拝は偶像の崇拝、神以外のものの崇拝です。これは、私たちを創造された神に対する不誠実の最悪の形です。魔術は、あなたが望むものを手に入れるための悪霊の力を操ることです。これらの闇の力に手を出すのは危険です。英語の聖書では、この言葉はしばしば魔術として翻訳されています。

これらの2つのリストの後に、私たちが他人との関係で、なんらかの形で関連する利己的な8つのリストがきています：敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、ねたみ。これらのことは、私たちが他人を愛することができない時、そして他人の損失よりも、利己的に自分の野心に心を注ぐ時に起きます。

肉の行為の最後の項目の2つのリストは、酩酊と遊興です。聖書にはワインへの肯定的な言及がありますが、アルコールにふけりすぎて誤用すると、多くの悲しみと破壊をもたらす可能性があります。自己への破壊...そして家族や友人に。

21節の終わりに、パウロは、これらのことを行う人々は「神の国を受け継ぐことはない」と警告しています。それは、これらの分野のいずれかで妥協している、自らをクリスチャンであると公言している人に関することです。あなたの人生は現在、これらの悪徳のいずれかによって特徴付けられていますか？私は短期間の間、罪に陥ることについて話しているのではありません – それが起こった場合、あなたは気が付いて、悔い改めて、主のもとに帰ることができます。しかし、あなたの人生がこれらの悪習のいずれかの長期的な行為によって特徴付けられるならば、あなたが本当にクリスチャンであるかどうかを誰かが疑問に思うことは正当でしょう。パウロはここで、そのような人々は神の国を相続できないと警告しています。それは怖いことです。これらの悪習のいずれかに陥った場合は、長くそれにとどまらないでください。それを悔い改めてください – 聖霊があなたを助けてくれます。完全な人はいませんが、主は悔い改めと従順な生活を望んでおられます。

ガラテヤ人への手紙第5章を読み続けましょう。私たちは今、今日の私の説教のタイトルである「御霊の実」に来ます。今日のメッセージの折り返し地点を過ぎた後、ようやく説教の本題にたどり着きました。ガラテヤ人への手紙 5:22-25 – しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、²³ 柔和、自制です。このようなものを禁ずる律法はありません。²⁴ キリスト・イエスにつく者は、自分の肉を、さまざまな情欲や欲望とともに、十字架につけてしまったのです。²⁵ もし私たちが御霊によって生きるのなら、御霊に導かれて、進もうではありませんか。

2週間前、私は演壇を飾るこのキルトをあなたに指摘しました。私たちは過去10年か12年間、毎週これをセットしてきたと思います。ここには「御霊の実」として言及されている9つの項目が描かれています。– 愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制。これは私たちの生活における聖霊の働きです。

ここにリストされている属性について詳細に4つのことを見たいと思います。

- 1.これは、取得を目指すべき属性のリストではありません。あなたはこれらの属性に焦点を合わせず、それらを獲得することに取り組みません。
- 2.これらの属性を取得したいですか？このリストは聖霊の実であることに注意してください。それは聖霊が働いておられるのです。あなたがなすべきことは、御霊に従って歩み、キリストが命じられたことに従って生活し、肉ではなく御霊に従って歩むことです。
- 3.実を实らせたいですか？それなら、あなたは、生産的な成長を助長する条件が整っている庭を作る必要があります。あなたは土を準備する必要があります。種を植える必要があります。つまり、あなたはあなたの心を準備する必要があります。そして、あなたの心と魂に命を与える物で満たす必要があります。それは、聖書を読み、教会に参加することです。

4.そして雑草を抜きます。すべての庭には、雑草が生えてきます。これらは摘み取る必要があります。私が言いたいのは、あなたがたは勤勉で、今月の二つの説教であなたがたのために述べてきた肉の行いを捨てる必要があるということです。肉によって歩くことを拒否します。それらの古い罪と悪い習慣からあなた自身を取り除きます。

これらの4つの点についてさらに詳しく説明しましょう。これらの属性の獲得に集中しないでください。代わりに、御霊に従い、キリストが命じられたことに従順で毎日歩んでください。

もし、あなたが実を实らせたいなら、庭を準備する必要があります。あなたは土をかき混ぜて、種のための土を準備する必要があります。堅い土に種を植えることはできません。もし、あなたが固くて頑固な心を持っているなら、あなたはそれを柔らかくする必要があります。実際、私たちがしなければならないことの1つは、私たちの心を変えることです。ローマ人への手紙 12:2 – この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまを知るために、心の一新によって自分を変えなさい。」

この世の習慣に合わせないでください。この世界で育った私たちの思考パターンの発達には多くの影響がありました—親や学校、テレビやインターネットからの影響。これの多くは不敬虔です。私たちは心を変え、心を新たにする必要があります。これをどのように行うのですか?あなたは聖書であなたの心を満たすことから始めることができます—それを読んで瞑想してください...そして、いくつかの良いキリスト教の本も読んでください。それに加えて、あなたは肯定的な習慣を身につけるべきです。

ガラテヤ人への手紙 6:7-9 – 思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、その刈り取りもすることになります。⁸自分の肉のために蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、御霊のために蒔く者は、御霊から永遠のいのちを刈り取るのです。⁹善を行なうのに飽いてはいけません。失望せずにいれば、時期が来て、刈り取ることになります。」これはわたしに大きな印象を残した聖句の一つです。もしあなたが肉的なものにふけるなら、あなたは滅びを刈り取る——あなたはあなたの人生を傷つけます。なぜなら、私たちが刈り取るのは永遠の命、つまり私たちに対する神の御心だからです。そして9節:あきらめないで、善を行なうのに飽いてはいけません—それは私が時々したくなるもう一つのことです。良いことをすることにうんざりして、クリスチャン生活の進歩を後退させ、止め始めることです。私たちが後退せずに前進し続けるならば、私たちは最終的に素晴らしい収穫を刈り取ります。

少し前に、私は生産的な庭を作るためには雑草を引き抜く必要があると言いました。父は、庭の雑草を引き抜く方法を教えてくれました。植物をつかんで、土の上にある緑色の部分を引っ張るだけではありません。いいえ。そうすると、根を残して、雑草が簡単かつすぐ

に成長します。代わりに、あなたがすることはあなたの指を地面に掘り起こし、あなたが根も引き上げることを確認することです。これはあなたの庭から雑草を取り除くための成功的な方法です。これは、パウロが彼の手紙のいくつかで言及している肉の行ないをどのように取り除く必要があるかを示しています。表面的な方法で肉の罪を取り除くことはできません。大きな罪を避けることはできませんが、小さな罪を甘やかし続けます。

御霊の実のリストの直後にパウロが言っていることをもう一度見てください。24節 – キリスト・イエスにつく者は、自分の肉を、さまざまの情欲や欲望とともに、十字架につけてしまったのです。肉を十字架につけなさい。真剣になり、あなたが関与する罪深い耽溺にノーと言ってください。

生活の中で御霊の実を得るためには、庭を適切に備えなければなりません。固くなった土をかき混ぜ、種を植え、栄養を与え、雑草を引き抜く...そして最後には、あなたは収穫することができます。しかし、あなたは神の近くに、イエスの近くに、御霊の近くにとどまらなければなりません。

御霊の実をもう一度読みましょう。22-23節 – 「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、²³ 柔和、自制です。このようなものを禁ずる律法はありません。」これらのことを禁止する律法はありません。実際、これらすべての資質を発揮できるクリスチャンは、本当に律法を成就しています。

私のESVスタディバイブルには、これらの9つの属性について非常に優れた簡潔な説明しています。このセクションを読んで、今日のメッセージを締めくくりましょう。

御霊は、福音書におけるイエスの中に明らかにされている敬虔な性格の肯定的な属性をクリスチャンに生み出すことによって、防御だけでなく攻撃においても罪と戦います。**愛**が最初に登場するのは、それが神の特質を最も明確に反映しているという点で最高の特質だからです(1 コリント 13:1-13;2 ペテロ 1:5-7)。**喜び**はすぐ近くにあり、というのは、神の救いにある喜びの中にいることは、クリスチャンが、神の御心と神の目的の中に正しく置かれていることを示しているからです(ヨハネ 15:11;16:24;ローマ 15:13;1 ペテロ 1:8;ユダ 24 節;など)。**平安**は、神が罪人をご自身と和解させたことの結果です。そのため、彼らはもはや神の敵ではないので、神に近づくことへの自信と自由がもたらされます。(ローマ 5:1-2;ヘブ 4:16)。**寛容 (忍耐) とは**、クリスチャンが自分の計画ではなく、むしろ神の御計画と予定に従っていることを示し、世界がどのように機能するべきかについての彼ら自身の考えを放棄していることを示しています。**親切**とは、他人に対して善意、寛大さ、同情を示すことを意味し、これも同様に神の属性です(ローマ 2:4)。**善意**とは、自分自身ではなく、他人の利益のために働くことを意味します...**誠実**さはもう一つの神の御性質です。それは、自分がやると言ったことを一貫して行うことを意味します。**柔和**は、マタイ 11:29にあるように、イエスが自分自身に帰する特質です。それは人々が彼に休息を見つけ、他人を励まし、強めることを可能にします。**自制**とは、クリスチャンが肉の力に抵抗することを可能に

する聖霊によって与えられた訓練です(ガラテヤ5・17参照)。そのようなことに反対する律法はなく、したがって、それらを明らかにする人々は、律法を成就しています。ユダヤの儀式を主張する人々よりも律法を守っているのです... (抜粋:クロスウェイ。「ESV®スタディバイブル」)

ここで見た属性の全ては、神の属性です。神は、神の御性質をあなたの中に形造っておられます。あなたは、あなたの人生の中に御霊のこの実を持ちたいでしょうか？それなら、生産的成長をする庭にしましょう。固い地面を壊し、聖書や他のキリスト教文学を定期的に読むなどの種を植え、あなたの人生から罪の雑草を引き抜きます。自己規律をもって生活し、キリストの命令に従います。そして、聖霊があなたの中に御霊の実を結ばせてください。